

企業科学専攻システムズ・マネジメントコース

<http://www.gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp/>

特色

今日企業は、外においては経済のグローバル化、社会との複雑な利害関係、また内においては柔軟な組織構成、急速に進歩する情報技術の取り込みが求められ、これまでになく複雑かつ高度な『新たな課題』に直面しています。

これらの企業と社会システムの相互作用の中で生じるビジネスの諸問題を研究対象として、20単位のコースワークと6ステージの論文指導によって、有職社会人が博士の学位を取得することを目指すコースです。

領域

本専攻システムズ・マネジメントコースにおける研究領域は企業法との共通分野のほか、以下の8分野にわたります。

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 戦略・組織 | 5. オペレーションズ・マネジメント |
| 2. マーケティング | 6. 統計 |
| 3. 会計 | 7. 知識・情報技術 |
| 4. ファイナンス | 8. システム・ソフトウェア開発 |

教育方法

本コースの教育は、講義・演習方式のコースワーク(20単位以上)と6ステージの論文指導からなります。修士課程において基礎知識は一通り学習していること的前提ですが、コースワークによって博士論文の研究に必要な専門知識をさらに深めることが可能となっています。また、実際の企業経営者による講義に接することも社会人大学院の特徴です。

入学後、指導教員(主指導および最低2人の副指導)を選び、複数指導制による研究指導を受けます。博士論文の作成は、“研究計画”、“サーベイ論文”、“中間論文”等々と続く6ステージを段階的に進むこととなります。各ステージで、指導教員のみならず多くの教員からコメントを得、論文を改訂して行きます。学生の負担は少なくありませんが6ステージを経た後、完成された博士論文には積極的に博士号を与えております。

1998年に最初の課程博士を送り出して以来、これまで多くの企業家や大学教員を輩出しています。

<応募状況>

平成29年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	44	17	17
平成30年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	60	16	15
平成31年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	38	16	15

システムズ・マネジメントコースと企業法コースを合わせて23名の定員となります。

<修了状況>

博士(システムズ・マネジメント)

28年度	29年度	30年度	計
1	3	4	8

博士(経営学)

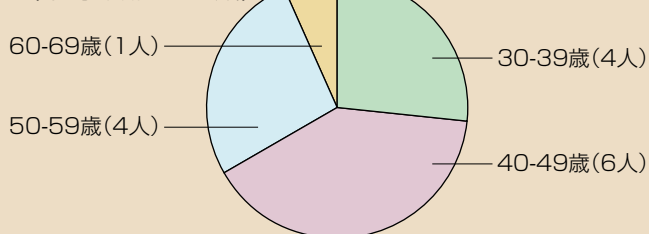
28年度	29年度	30年度	計
3	1	5	9

<入学者関係データ>

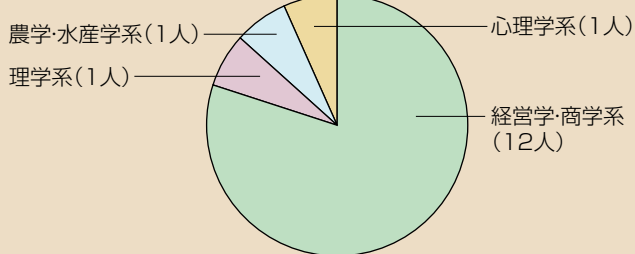
平成31年度入学者 / 15名(男性13名,女性2名)

①年齢分布

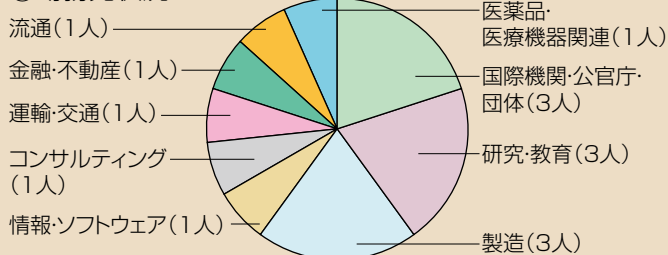
(平均年齢45.3歳)



②出身学部



③勤務先状況



ビジネス科学研究科
(博士後期課程)

企業科学専攻

システムズ・マネジメントコース

平成31年度 講義日程

経営システム科学専攻

企業科学専攻システムズ・マネジメントコース

春学期	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
A 1	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日
A 2	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日
A 3	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日
A 4	5月7日	5月8日	5月9日	5月10日	5月11日
A 5	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日

秋学期	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
A 1	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日	10月5日
A 2	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日	10月19日
A 3	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日	10月26日
A 4	10月29日	10月23日	10月24日	10月25日	11月2日
A 5	11月5日	10月30日	10月31日	11月1日	11月16日

春学期	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
B 1	5月21日	5月22日	5月23日	5月24日	6月1日
B 2	5月28日	5月29日	5月30日	5月31日	6月8日
B 3	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日	6月15日
B 4	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月22日
B 5	6月18日	6月19日	6月20日	6月21日	6月29日

秋学期	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
B 1	11月12日	11月6日	11月7日	11月8日	11月30日
B 2	11月19日	11月13日	11月14日	11月15日	12月7日
B 3	11月26日	11月20日	11月21日	11月22日	12月14日
B 4	12月3日	11月27日	11月28日	11月29日	12月21日
B 5	12月10日	12月4日	12月5日	12月6日	1月11日

春学期	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
C 1	6月25日	6月26日	6月27日	6月28日	7月6日
C 2	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日	7月13日
C 3	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月20日
C 4	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	7月27日
C 5	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	8月3日

秋学期	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
C 1	12月17日	12月11日	12月12日	12月13日	1月18日
C 2	12月24日	12月18日	12月19日	12月20日	1月25日
C 3	1月7日	1月8日	1月9日	1月10日	2月8日
C 4	1月14日	1月15日	1月16日	1月17日	2月15日
C 5	1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	2月22日

3 ビジネス科学研究科 企業科学専攻

(1) システムズ・マネジメントコース

① 開設授業科目

ア 専攻共通科目（共通専門科目）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA011	企業科学共通科目I - ビジネスと法I -	1	1.0	1・2	春季休業中	集中		小林 和子, 平嶋 竜太, 藤澤 尚江, 潮海 久雄, 大淵 真喜子, 岡本 裕樹	社会において法がどのように用いられているのかをいくつかの法領域について概説することによって理解を図るものとする。統一テーマは、「財産をめぐる法」。「物・権利と契約」、「知的財産」、「裁判手続・執行手続」、「国際私法」の各分野について概説を行った後、受講生各自が自己の関心にしたがって、概説された各領域についての制度や事件(判決)を調べ議論する。	開講日は後日掲示 西暦奇数年度開講。 02RB309と同一。
02FA012	企業科学共通科目II - ビジネスと法II -	1	1.0	1・2					社会において法がどのように用いられているのかをいくつかの法領域について概説することによって理解を図るものとする。統一テーマは、「社会における法」。「労働・年金」、「税制」、「会社」の各分野について概説を行った後、受講生各自が自己の関心にしたがって、概説された各領域についての制度や事件(判決)を調べ議論する。	開講日は後日掲示 西暦偶数年度開講。 02RB310と同一。
02FA013	企業科学共通科目III	1	1.0	1・2					本講義はビジネスの現場で生じる事象を科学的に捉えるための知識を学習してもらうことを目的とし、経営学、マーケティング及び情報学といったシステムズ・マネジメントの要素技術を最新の話題を講義することで学習してもらう。(情報分野)	2018年度より2年おき開講。
02FA014	企業科学共通科目IV	1	1.0	1・2					本講義はビジネスの現場で生じる事象を科学的に捉えるための知識を学習してもらうことを目的とし、経営学、マーケティング及び情報学といったシステムズ・マネジメントの要素技術を最新の話題を講義することで学習してもらう。(経営分野)	2017年度より2年おき開講。
02FA015	企業科学共通科目V—会計と法—	1	1.0	1・2					現在、国際会計基準理事会において会計基準の国際的統一化がすすめられていることに鑑み、本講では国際会計基準の制定に大きな影響を与えている主要国の会計制度とその背景にある法制度の関連について検討を行う。	西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。 平成24年度までの会計と法と同一内容
02FA016	企業科学共通科目VI	1	1.0	1・2	秋A	土3, 4※	講義室6	猿渡 康文, 徐 驊, 牧本 直樹, 山田 雄二, 領家 美奈, 尾碕 幸謙	本講義はビジネスの現場で生じる事象を科学的に捉えるための知識を学習してもらうことを目的とし、経営学、マーケティング及び情報学といったシステムズ・マネジメントの要素技術を最新の話題を講義することで学習してもらう。(数理分野)	2019年度開講予定 (※12:20~開始)

イ 共通科目（選択必修科目）

02FA141	システムズ・マネジメント特別演習I-I	2	2.0	1	春AB	土5, 6	講義室6	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自による研究テーマの絞り込み、博士論文の研究計画書としてまとめを指導し、研究テーマ発表会に臨める形を目標とする。	履修申請は1年次の春A期間
02FA142	システムズ・マネジメント特別演習I-II	2	1.0	1	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイについて指導する。	履修申請は春A期間
02FA143	システムズ・マネジメント特別演習I-III	2	1.0	1 - 3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	春学期に開講するセミナー形式の授業である。システムズ・マネジメント特別演習I-I, IIを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間
02FA144	システムズ・マネジメント特別演習I-IV	2	1.0	1 - 3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	春学期に開講するセミナー形式の授業である。システムズ・マネジメント特別演習I-I, II, IIIを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間
02FA145	システムズ・マネジメント特別演習I-V	2	1.0	1 - 3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	春学期に開講するセミナー形式の授業である。システムズ・マネジメント特別演習I-I, II, III, IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間
02FA146	システムズ・マネジメント特別演習II-I	2	1.0	1	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、春学期に引き続き、学生各自の研究テーマと研究方法の修得・補強について指導する。	履修申請は秋A期間
02FA147	システムズ・マネジメント特別演習II-II	2	1.0	1	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに関連する既存の研究の徹底的なサーベイ、研究方法の習得・補強する。	履修申請は秋A期間

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA148	システムズ・マネジメント特別演習II-III	2	1.0	1	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに関連するサーベイ・レポートとしてのまとめを指導し、「博士論文指導委員会」に報告できる形を目標とする。	履修申請は秋A期間
02FA149	システムズ・マネジメント特別演習II-IV	2	1.0	1 - 3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	秋学期に開講するセミナー形式のシステムズ・マネジメント特別演習の授業である。システムズ・マネジメント特別演習II-I, II, IIIを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間
02FA150	システムズ・マネジメント特別演習II-V	2	1.0	1 - 3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	秋学期に開講するセミナー形式のシステムズ・マネジメント特別演習の授業である。システムズ・マネジメント特別演習II-I, II, III, IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間
02FA151	システムズ・マネジメント特別演習II-VI	2	1.0	1 - 3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	秋学期に開講するセミナー形式のシステムズ・マネジメント特別演習の授業である。システムズ・マネジメント特別演習II-I, II, III, IV, Vを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間
02FA161	システムズ・マネジメント講義I-I	2	1.0	1 - 3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員によって、または研究指導教員の方針の下で複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに沿った研究の継続を促し、博士論文の骨格となる部分の構築を指導する。	履修申請は春A期間
02FA162	システムズ・マネジメント講義I-II	2	1.0	1 - 3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講する。学生各自に対して研究テーマに沿った研究の継続を促し、関連指導教員の協力を得て、構築した論文骨格を批判的視点から見つめ直すことを促す。	履修申請は春A期間
02FA163	システムズ・マネジメント講義I-III	2	1.0	1 - 3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに沿った研究を継続、博士論文の骨格部分について中間報告書としてまとめを促し、中間報告会で報告できる形を目標とする。	履修申請は春A期間
02FA164	システムズ・マネジメント講義I-IV	2	1.0	1 - 3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講義I-IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講義を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講義を受講する必要がある場合に開講される。	履修申請は春A期間
02FA165	システムズ・マネジメント講義I-V	2	1.0	1 - 3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講義I-IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講義を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講義を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講義I-IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間
02FA166	システムズ・マネジメント講義I-VI	2	1.0	1 - 3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講義I-IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講義を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講義を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講義I-IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間
02FA167	システムズ・マネジメント講義II-I	2	1.0	1 - 3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員によって、または研究指導教員の方針の下で複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講する。学生各自に対して研究テーマに関連する博士論文の書き方(論文構成、表現方法、文献引用等)を指導する。論文ドラフトの完成を促し、論文ドラフト発表会に臨める形を目標とする。	履修申請は秋A期間
02FA168	システムズ・マネジメント講義II-II	2	1.0	1 - 3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに関連する博士論文の完成を促し、論文審査委員会に提出できる形を目標とする。	履修申請は秋A期間
02FA169	システムズ・マネジメント講義II-III	2	1.0	1 - 3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに関連する博士論文の完成を促し、論文審査委員会に提出できる形を目標とする。	履修申請は秋A期間
02FA170	システムズ・マネジメント講義II-IV	2	1.0	1 - 3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講義II-IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講義を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講義を受講する必要がある場合に開講される。	履修申請は秋A期間

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA171	システムズ・マネジメント講究II-V	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究II~IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講究II~IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間
02FA172	システムズ・マネジメント講究II-VI	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究II~IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講究II~IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間

ウ 専門科目（選択科目）

02FA201	マーケティングコミュニケーション	4	1.0	1-3	秋B	金7,8	講義室6	西尾 チヅル	市場のニーズを充足する製品・サービスを提供し、それを普及・浸透させ、顧客とのよい関係を長期的に形成・維持するために必要なコミュニケーションとその方法について検討する。具体的には、ブランド構築、広告コミュニケーション、セールスプロモーション、顧客維持などに関する国内外の語文献を講読し、関連する知識と研究方法を体得すると共に、いくつかの具体的なテーマを設定して、マーケティング・コミュニケーションの展開方法を議論する。	西暦奇数年度開講。
02FA202	消費者マーケティング	4	1.0	1-3				西尾 チヅル	市場を構成する最終消費者の構造やメカニズムを学習し、最終消費者向けのマーケティング戦略のあり方とその方法について検討する。具体的には、最終消費者の嗜好構造、行動、意思決定プロセスとそれを規定する諸要因に関する国内外の代表的な語文献を講読し、関連する知識と研究方法を体得すると共に、いくつかの具体的なテーマを設定して、消費者マーケティングの展開方法を議論する。	西暦偶数年度開講。
02FA203	マーケティング・サイエンス特論	4	1.0	1-3	春B	土2,3	講義室6	佐藤 忠彦	本講義では、消費者及び企業の行動をモデル化し、マーケティング上有用な高次情報を抽出するための統計的モデリング法について検討を行う。具体的には、階層ベイズモデル、状態空間モデルなどの手法及びそれらの適用事例について講読し、関連する知識と研究方法を体得するとともに、最新のマーケティング・サイエンスアプローチを議論する。	毎年開講
02FA204	マーケティング特論	1	1.0	1-3	通年	集中			市場の成熟化、国際化、情報技術の進展など、企業や組織をとりまくマーケティング環境は大きく変化している。本講義は、マーケティングの基礎的な理論や方法論を土台としながらも、これらの環境の変化の中で発展してきた最新の理論やテーマを取り上げる。	非常勤講師・開講未定
02FA205	戦略マネジメント特論	1	1.0	1-3	通年	集中			本講義では、戦略マネジメント領域における最新のトピックを取り上げ、講義する。理論・実証の両面からの理解を深めることが目的である。	非常勤講師・開講未定
02FA206	イノベーション・マネジメント	4	1.0	1-3	通年	集中			イノベーションは広い概念だが、本講義では技術革新としてのイノベーションに焦点をあて、イノベーション・プロセス、イノベーションと企業戦略、製品/工程イノベーションと企業戦略などを中心に検討する。	非常勤講師・開講未定
02FA207	経営戦略総論	4	1.0	1-3				立本 博文	経営戦略論の主要な領域について概説する。また、それについて、それぞれの領域における主要なトピックについて、欧米の主要なジャーナルの論文を中心に輪読し、最先端の研究動向を理解することを目的とする。	西暦偶数年度開講。
02FA280	経営戦略特論	4	1.0	1-3	秋C	土6,7	講義室6	立本 博文	経営戦略論に関連する特定テーマについて研究論文等を輪読する	西暦奇数年度開講。
02FA208	人材開発論	4	1.0	1-3	秋B	土4,5	435	永井 裕久	企業活動のグローバル化、労働市場の流動化、雇用形態の多様化の中で、日本企業において従来とは異なる人材育成、人的資源活用のパターンが出現している。こうした潮流の変化に対応すべく、国内外の成功事例に基づき新しい労働慣行を積極的に取り入れる企業や官庁の政策提言も増加している。本講では、社会心理学的な観点から、人材をとり巻く雇用環境の変化の中で、従業員の意識特性や行動様式がどのように変化しているのか、また、企業間移動にもなう汎用的な能力開発に向けた人事政策について、最新の事例研究や学術論文を用いて、参加者の議論を通して考察していく。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA270	組織行動論	4	1.0	1 - 3				永井 裕久	組織の中の間人行動について、3つの行動次元(個人・集団・組織)から、個人の意識特性やパフォーマンスに影響を与える特性並びに、組織マネジメントについて学習する。各次元に関連するトピックス(例:パーソナリティ、リーダーシップ、動機づけ、コミュニケーション、集団力学等)について、定性的および定量的に分析し、適用するアプローチの仕方について、受講生間の討論および、アクションラーニングを通して考える。	西暦偶数年度開講。
02FA210	非営利組織経営論	4	1.0	1 - 3	春C	木7,8	講義室6	加藤 毅	政府・市場の失敗や社会貢献意識の高まり等を受け、非営利組織に対する期待が大きくなっている。講義では、わが国における非営利組織の全体像および国際的な動向を踏まえた上で、社会学および経済学的アプローチを中心として、非営利組織とその経営に関する体系的理解を深める。これらの議論の延長上に、非営利組織の経営が現在直面している問題群の中から具体的な研究課題を設定し、論文としての展開可能性を探る。	西暦奇数年度開講。
02FA211	スポーツビジネス論	4	1.0	1 - 3				菊 幸一	スポーツの需要・供給関係を軸にしたスポーツと社会の構造分析に基づいて、全体の主題を企業スポーツ、プロフェッショナル・スポーツに焦点化し、スポーツビジネスからみた社会的イノベーションの可能性やその特徴を論じる。また、企業スポーツ、プロフェッショナル・スポーツの成立形態や歴史的過程を概説し、わが国のスポーツの歴史社会的背景からみたスポーツビジネスの課題を論じる。	西暦偶数年度開講。
02FA212	プロフェッショナル・スポーツ論	4	1.0	1 - 3	秋B	土2,3	演習室8	菊 幸一	わが国における今日のプロ野球およびJリーグを比較対照しながら、スポーツビジネスにおけるコンテンツとしての特徴と魅力、およびその歴史社会的背景等の違いを明らかにする。また、わが国でもっとも長い歴史をもつプロ野球の成立を供給サイドのプロフェッショナルイズムの生成・発展から明らかにし、現代の企業価値に通じる側面とその影響について考える。考察の観点は、スポーツの幅広い社会的機能をめぐる文化的享受の到達点としてプロフェッショナル・スポーツをとらえることにおかれるので、きわめて社会学的である。	西暦奇数年度開講。
02FA215	金融工学総論	4	1.0	1 - 3	秋B	火7,8	649	山田 雄二	金融工学に関するより発展的なテーマについて取り扱う。具体的には、アセットプライシング理論、ポートフォリオ最適化理論、金利期間構造モデル、オプションヘッジ理論などのテーマからトピックを選択し、議論する。また、当該トピックスについて関連論文を読み、発表を行うことで理解を深める。	西暦奇数年度開講。
02FA216	数理ファイナンス	4	1.0	1 - 3				山田 雄二	派生証券理論やポートフォリオ理論を中心に、計量ファイナンス分野に関するより発展的なテーマについて取り扱う。具体的には、非完備市場における派生証券価格付け、オプションヘッジ、電力市場、天候デリバティブなどのテーマからトピックを選択し、議論する。また、当該トピックスについて関連論文を読み、発表を行うことで理解を深める。	西暦偶数年度開講。
02FA219	管理会計特論	1	1.0	1 - 3					組織内における意思決定と業績評価への会計情報の適用を中心に、最近のトピックスを反映した研究課題を取り上げ、講義を行う。	西暦偶数年度開講。 非常勤講師・開講未定
02FA220	金融ビジネス総論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			金融ビジネスにおける最近のテーマについて講義を行う。金融ビジネスの実際、最新の金融商品の価格付け・ヘッジ問題や動向についてのテーマを予定している。	非常勤講師・開講未定
02FA221	統計モデル総論	4	1.0	1 - 3	通年	集中			本講義では、計量的モデリングのプロセス、モデルの特徴、同定の原理・診断の方法について俯瞰する。講義後半で、受講者と共に、各自の研究、その先行研究ないしは実務に関して、経営仮説実証・経営意思決定における事例を紹介し、それらにおけるモデリングの機能、問題点を議論する。	非常勤講師・開講未定
02FA223	確率過程総論	1	1.0	1 - 3	秋A	木7,8	講義室6	牧本 直樹	金融工学やリスク分析で利用される種々の確率過程の理論的側面を中心に、関連する統計手法や数値計算ソフトウェアも交えながら論じる。具体的な内容として、マルコフ解析、確率微分方程式、確率制御、フィルタリング、多変量分布論など。	西暦奇数年度開講。
02FA224	応用確率論	1	1.0	1 - 3				牧本 直樹	企業活動に関わる意思決定では、将来的な不確実性をどのように計量化すればよいかという問題が重要となることが多い。本講義では、経営や経済、金融分野などで利用されるさまざまな確率モデルの理論、モデルの構築方法、分析手法を解説するとともに、応用例を紹介する。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA225	計画数理総論	4	1.0	1 - 3	春C	水7,8	講義室6	猿渡 康文	社会システムに内在する諸問題を数理的なモデルとしてモデル化する上で、その背景となるオペレーションズ・リサーチ、特に、最適化理論は必要不可欠なツールとなる。本講義では、数理計画法、グラフ・ネットワーク理論を網羅的に扱い、それらから得られる理論を用いて、問題構造を分析し意味解釈できる方法論を習得することを目的とする。	西暦奇数年度開講。
02FA226	トータルロジスティクス	4	1.0	1 - 3				猿渡 康文	本講義は、企業や一部の公的機関において行われているロジスティクスを、「もの」の調達・製造・物流・販売からなる総合的なシステムと捉え、システムの立案・計画・運用の各段階で生じる様々な意思決定問題に対して、線形計画法、ネットワーク計画法といったオペレーションズ・リサーチの理論や手法をもとにした科学的工学的な解決能力を養うことを目的とする。	西暦偶数年度開講。
02FA227	設計技法総論	4	1.0	1 - 3	通年	集中			製品・サービスの設計には、対象となる分野固有の知識と、それを効果的に活用・推進するための技法の両側面が不可欠である。本講義では後者を対象とし、統計的手法である実験計画法などを中核とした技法について製品設計事例、生産技術設計事例と共に紹介する。	西暦奇数年度開講。 非常勤講師・開講未定
02FA228	品質経営総論	4	1.0	1 - 3					種々の企業におけるTQM(Total Quality Management)の経営慣行を、システムズ・マネジメント分野の研究テーマに即して取り上げ、新製品/新サービスの開発マネジメントを中心とする品質経営の観点から総合的に議論する。	西暦偶数年度開講。 非常勤講師・開講未定
02FA229	動的システム総論	1	1.0	1 - 3				徐 驊	現実社会において生じる動的な諸現象やシステムを記述するには微分方程式(差分方程式)モデルがよく用いられている。自然科学、工学に限らず、経営、経済などの社会科学においても、問題の対象を動的システムとして考えることが重要となっている。時間的な要素を取り入れる多期間社会システムの最適問題と動的ゲーム問題を、経済成長、資産運用、市場競争などの社会システムの枠組みの中に関連づけて説明する。	西暦偶数年度開講。
02FA278	リスクマネジメント総論	1	1.0	1 - 3	春A	火7,8	講義室6	徐 驊	リスクマネジメントとは、リスクの特定・識別、リスクの定量化・測定、リスクのアセスメント・評価とリスクのコントロールなどの一連の活動から構成されているシステムティックなプロセスのことである。本講義では、リスクマネジメントの基本概念を解説するとともに、リスクマネジメントの各段階に使われている手法やモデルなども紹介する。たとえば、大規模・複雑なシステムのリスク特定・識別に使われている階層ホログラフィックモデル法やリスクのアセスメントとコントロールに必要とするリスクフィルタリング、ランキングとマネジメント法などを紹介する。学生はこれらの手法やモデルなどを使って、各自の関心をもつリスクマネジメントの課題を挑戦する。	西暦奇数年度開講。
02FA230	ソフトコンピューティング	4	1.0	1 - 3	秋C	火7,8	講義室6	領家 美奈	ソフトコンピューティングのうち、主にファジイ理論、遺伝的アルゴリズム、ニューラルネットワークを中心に論じる。それらの基礎的理論について述べた後、関連する文献の輪読を通じて理解を深める。	西暦奇数年度開講。
02FA231	数量化手法特論	4	1.0	1 - 3				領家 美奈	アンケート調査などで用いられるカテゴリーデータを扱うためのいくつかの代表的な数量化手法について学ぶ。またデータベースの特性をよりよく把握するためにクラスター分析についても学ぶ。その応用として感性情報処理をとりあげ、感性評価データの収集と解析を通じた実践的演習も行う。	西暦偶数年度開講。
02FA232	経営科学総論	4	1.0	1 - 3	通年	集中			経営の各ファンクションで使われる様々な「科学的な意思決定方法」について学ぶ。方法論それ自身を深いレベルで理解しようとするのではなく、むしろ「科学的な意思決定方法」の概略を知り、それを問題発見や問題解決に向けて自在に駆使できる能力を修得することを目的とする。現代的な課題を題材に、学外の講師が講義を担当する。	非常勤講師・開講未定
02FA234	プロジェクト・マネジメント論	4	1.0	1 - 3	春B	金7,8	講義室6	木野 泰伸	企業は変革を成し遂げるために、各種プロジェクトを実施する。プロジェクトを成功させるためには、ビジョンの明確化、計画の立案、作業の実施、状況のモニタリングとコントロールの各段階において体系化されたマネジメントプロセスを実施することが大切である。本講義では、その手法について学習する。	西暦奇数年度開講。 02CF207と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA275	システムデザイン論	4	1.0	1 - 3				木野 泰伸	世の中には、社会システム、経済システム、発電システムなど、物理的、概念的要素が集まることによって構成されるシステムが多く存在する。それらシステムは、人類によって設計されるものも少なくない。本講義では、そのようなシステムの特徴を確認し、設計方法について議論する。	西暦偶数年度開講。 02CF208と同一。
02FA235	オペレーションズ・マネジメント特論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			オペレーションズ・マネジメント領域のカレントな課題や発展的なトピックスについて、学内外の講師が講義を行う。	非常勤講師・開講未定
02FA236	経営科学特論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			サプライチェーンなど、経営のファンクション間に内在する様々な経営課題の「科学的な意思決定方法」について学ぶ。方法論それ自身を深いレベルで理解しようとするのではなく、むしろ「科学的な意思決定方法」の概略を知り、それを問題発見や問題解決に向けて自在に駆使できる能力を修得することを目的とする。現代的な課題を題材に、学外の講師が講義を担当する。	非常勤講師・開講未定
02FA237	ソフトウェア技術論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			情報システムを構成する主要要素である「ソフトウェア」の設計と実装に関する諸問題について、具体的なプログラム、文献、論文等を題材に討論する。	非常勤講師・開講未定
02FA238	情報検索特論	4	1.0	1 - 3	春C	応談		津田 和彦	インターネットなど爆発的に増加する情報量の中から必要な情報を探し出すことは、キーワード検索のみでは困難である。そのため、分野分類、概念検索、更には意図理解など、高度な検索技術が開発されつつある。本講義では、高度検索技術の要素技術および適用分野について紹介する。	西暦奇数年度開講。 02CF201と同一。
02FA239	知的ドキュメント管理論	4	1.0	1 - 3					常に氾濫しがちなドキュメント情報を、知識とするには「必要とする情報」を高速かつ漏れなくピックアップする必要がある。これを実現するための手法について講義する。また、既存の管理方法を紹介するとともに、それらの手法の問題点についても考察する。	西暦偶数年度開講。 02CF202と同一。
02FA240	オブジェクト指向技術	4	1.0	1 - 3	通年	集中			オブジェクト指向プログラミング言語の機能、およびその利用技術としてのデザインパターン、コンポーネント、分散化、テストツールなどについて、トピック中心に取り上げる。	西暦奇数年度開講。 非常勤講師・開講未定
02FA241	プログラミング言語論	4	1.0	1 - 3					オブジェクト指向言語、関数型言語、軽量言語、並行言語などをはじめとするプログラミング言語の体系やその各種側面について、具体的な実用言語を題材として整理し取り上げる。	西暦偶数年度開講。 非常勤講師・開講未定
02FA242	ネットワーク特論	4	1.0	1 - 3	秋C	随時		吉田 健一	インターネットの発展は人工知能やデータマイニング技術と共に、新しい社会インフラとしての地位を確立した。本講義では、このような背景の中、ビッグデータ・クラウドサービスなど関連の最新論文を題材に、各論文の貢献について議論する。議論の目的は、論文が研究分野にもたらす貢献に留まらず、各論文の査読プロセスなどにも立ち入りながら、査読の仕方、査読への対応の仕方などについても学ぶ。	西暦奇数年度開講。 02CF203と同一。
02FA243	情報マネジメント	4	1.0	1 - 3				吉田 健一	現代の情報処理技術がWWWのような新しい価値を創出しようとしている一方、迷惑メールやインターネットウイルス等のマイナス面が新たなマイナスの社会要因を作りつつある。本講義では、このような社会背景の中、問題となる各種概念および関連技術に関する論文を題材に、論文内容に関する議論を行う。議論の目的は、論文が研究分野にもたらす貢献に留まらず、各論文の査読プロセスなどにも立ち入りながら、査読の仕方、査読への対応の仕方などについても学ぶ。	西暦偶数年度開講。 02CF204と同一。
02FA246	複雑システム論	4	1.0	1 - 3	秋B	±5,6	講義室6	倉橋 節也	流行現象、流通・取引関係、プロジェクト運営、伝染病など、人や組織に起因する社会のさまざまな関係は、複雑システムの視点から捉えることができる。これらを分析する手法から、マルチエージェント技術、ネットワーク分析、学習理論などのモデルと手法を取り上げ、最近の研究成果に関する文献を読む。	西暦奇数年度開講。 02CF205と同一。
02FA247	知能情報システム	4	1.0	1 - 3				倉橋 節也	複雑な社会の問題を扱うためには、複雑システムのモデル化が必要となる。知能情報システムは、人工知能やシミュレーション技術を基礎としたボトムアップ型のアプローチをとり、自律的、適応的な手法を用いて対象をモデル化する。本講義では、進化した計算、学習理論、エージェントベースモデリングなどの手法を学び、受講者の問題意識に対応した関連文献を読む。	西暦偶数年度開講。 02CF206と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA248	情報メディア・マネジメント	4	1.0	1 - 3	通年	集中			情報メディア分野の産業や組織でのマネジメントに必要な視点と問題解決能力の育成を目的とする。情報メディア産業の現状と現在の情報メディア環境、メディアの需要測定、コンテンツ製作、知的財産マネジメント等を中心にメディア産業の融合を視野に講義で必要な概念や日本及び欧米の動向を扱う。	西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず 非常勤講師
02FA249	情報メディア戦略	4	1.0	1 - 3					この授業は、情報メディア・ビジネスのストラテジーに必要な視点と問題解決能力の育成を目的とする。情報メディア産業の実情と様々な問題点(ヒューマン・リソース・マネジメント等)、文化産業におけるプライシング、情報メディアのマーケティングなどを中心に、情報メディアの日本及び欧米の現在の動向を扱う。	西暦偶数年度開講。 非常勤講師・開講未定
02FA250	情報システム特論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			知能情報システム、言語情報システム、経営情報システム、分散システム、ネットワークシステムなど、さまざまな情報システムから、最新のトピックを取り上げて講義する。	非常勤講師・開講未定
02FA251	計算機科学特論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			計算機科学の各分野、具体的には人工知能、データマイニング、自然言語処理、プログラミング言語、ソフトウェア工学、ネットワークなどから、最新のトピックを取り上げて講義する。	非常勤講師・開講未定
02FA252	知識経営	4	1.0	1 - 3	通年	集中		ベントン キャロライン	知識経営とは、企業・組織のあらゆる側面のイノベーションを促進するため、組織の内部に存在する個人の知識を組織全体で蓄積・共有して業務の効率化を行い、同時に組織内・外のコラボレーションから発生する価値創造を目指すマネジメント・パラダイムである。本講義では、組織の個人とグループの戦略的知識共有と創造のプロセスと促進要因(文化、ビジョン、ビジネスモデル、ビジネス戦略、コンテクスト、HRMなど)について、経営学の観点から体系的に議論・研究する。講義は日本語で行う。	2019年度開講せず。
02FA253	システムズ・マネジメント特論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			システムズ・マネジメント領域に関する最新の理論や方法論を取り上げて講義する。	非常勤講師・開講未定
02FA254	組織文化とリーダーシップ特論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			企業が存続・成長するには組織の変革が必要となる。組織文化やリーダーシップを切り口として、組織変革の理論について国内外の文献を取り上げながら学習する。	西暦奇数年度開講。 非常勤講師・開講未定
02FA255	経営組織特論	1	1.0	1 - 3					企業が戦略を実行するには組織づくりが必要となる。意思決定とコミュニケーションを切り口として、組織設計の理論について国内外の文献を取り上げながら学習する。	西暦偶数年度開講。 非常勤講師・開講未定
02FA273	共分散構造分析特論	4	1.0	1 - 3	秋C	金7,8	講義室6	尾碕 幸謙	本授業では、社会科学研究で使われる共分散構造分析について、理論面の理解を深め、実際のデータ解析経験を積むことを目的とする。理論面に関しては、定評のある書籍や論文を使い、近年の発展についても触れる。データ解析に関しては、論文に記載されているデータなどを使い、地に足の着いた理解を目指す。	西暦奇数年度開講。
02FA276	調査データ解析特論	4	1.0	1 - 3				尾碕 幸謙	マルチレベルモデル、カテゴリカルデータ解析、欠測データ解析など、各種調査データの解析で使われる様々な統計手法に関して、輪読・講義・演習を通して理解を深める。	西暦偶数年度開講。
02FA277	実証会計論	1	1.0	1 - 3				中村 亮介	会計学の先進的な知識をベースに、会計情報が実務のどのような局面で利用されているのかを考察し、会計情報の活用仕方について、テキストや実証研究の結果をもとに議論します。具体的には、報酬契約・債務契約・証券投資といった局面における会計の機能を理解し、その知識を実務に応用できることを目標とします。	西暦偶数年度開講。
02FA279	財務会計特論	1	1.0	1 - 3	秋C	水7,8	講義室6	中村 亮介	会計制度の国際化という状況のもとで、財務会計の最新論点(金融商品会計、リース会計、退職給付会計、税効果会計など)について整理し、これについてどのような実証研究が行われているのかを学習する。そして、会計制度をよりよくするために今後どのような研究が必要かを考える。	西暦奇数年度開講。
02FA281	組織研究	4	1.0	1 - 3	秋A	火7,8	講義室6	佐藤 秀典	この講義では、近年の経営組織論分野における研究を取り上げ、そこで用いられている理論および分析のための手法について検討する。経営組織論における研究では、対象とする現象が組織内の個人に焦点を当てるものから組織間のネットワークに焦点を当てるものまで多岐にわたるため、用いられる理論も多様である。また、分析のための手法も定性的アプローチ、定量的アプローチの両方を含み、様々なものが用いられている。そのため、実際の研究の詳細を見ることで、理論の理解を深めるとともに、主要な研究手法についても学ぶ。それにより、自らの研究に生かせるようにすることを目指す。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA282	計量マーケティングモデル特論	4	1.0	1・3	春C	金7,8	講義室6	伴 正隆	マーケティング・サイエンスの分野で登場する、統計学や計量経済学をベースとしたいくつかのモデルについて、文献購読を通して、モデルの特性とそのモデルを使用する背景、さらに最新のトピックについて検討する。手法だけでなく、文献の中に登場するマーケティングの理論や概念とデータの特性まで合わせて検討することでモデル構築の素養を高める。	
02FA283	国際政治経済の概況と経営	4	1.0	1 - 3	春B	火7,8	433 ※	礪波 亜希	今日のビジネス環境は国際政治経済と密接にかかわる。例えば、東アジアの国際政治情勢がインフラ投資事業に影響をもたらしたり、地球温暖化で北極の水が溶け、新たな航路が開発されたりする。こうした背景の下、本コースでは、国際政治経済の概況を理解するために必要な各種分析ツールを学習し、実証分析を行うことを試みる。特に、国際貿易、国際金融、多国籍企業による生産活動、またこうした領域における国際制度、アクター、さらにグローバリゼーションをめぐる論争について、国際政治経済学の4つの世界観(リアリズム、リベラリズム、マルクス主義、構成主義)に基づいて検討を行い、個別の現象がビジネスや国際経営に及ぼす影響を及ぼし得るのかを考える。	※6/18のみ652ゼミ室
02FA421	システムズ・マネジメント輪講I-I	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談		システムズ・マネジメントコース輪講担当教員	春学期に開講し、システムズ・マネジメント領域の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	履修申請は春A期間
02FA422	システムズ・マネジメント輪講I-II	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談		システムズ・マネジメントコース輪講担当教員	春学期に開講し、システムズ・マネジメント領域の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。輪講I-Iの単位修得(見込を含む)者向け科目。	履修申請は春A期間
02FA423	システムズ・マネジメント輪講I-III	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談		システムズ・マネジメントコース輪講担当教員	春学期に開講し、システムズ・マネジメント領域の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。輪講I-IIの単位修得(見込を含む)者向け科目。	履修申請は春A期間
02FA424	システムズ・マネジメント輪講II-I	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談		システムズ・マネジメントコース輪講担当教員	秋学期に開講し、システムズ・マネジメント領域の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	履修申請は秋A期間
02FA425	システムズ・マネジメント輪講II-II	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談		システムズ・マネジメントコース輪講担当教員	秋学期に開講し、システムズ・マネジメント領域の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。輪講II-Iの単位修得(見込を含む)者向け科目。	履修申請は秋A期間
02FA426	システムズ・マネジメント輪講II-III	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談		システムズ・マネジメントコース輪講担当教員	秋学期に開講し、システムズ・マネジメント領域の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。輪講II-IIの単位修得(見込を含む)者向け科目。	履修申請は秋A期間

・「開講未定」の科目は、開講が決定したら掲示でお知らせします。

・「システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員」は、次の教員がグループまたは個別(単独)に各クラスを担当します。

倉橋、佐藤(忠)、猿渡、立本、徐、津田、永井、西尾、牧本、山田(雄)、吉田、尾碕、加藤、木野、佐藤(秀)、伴、中村、領家、(ベントン、中谷、山田(秀)、稲水)

・「システムズ・マネジメントコース輪講担当教員」は、次の教員がグループまたは個別(単独)に各クラスを担当します。

倉橋、佐藤(忠)、猿渡、立本、徐、津田、永井、西尾、牧本、山田(雄)、吉田、尾碕、加藤、木野、佐藤(秀)、礪波、伴、中村、領家

・以下の科目は同一科目です。「変更前」の科目を既に修得している場合は「変更後」の科目は履修できません。

(変更前)

会計と法(～平成24年度)

(変更後)

⇒ 企業科学共通科目V-会計と法(平成26年度～)

春学期Aモジュール				12:20～授業開始 01KA007 ビジネスと情報 [吉田・津田・倉橋]<基>648	3
授業時間： 3時限 11:45 ～ 13:00 4時限 13:45 ～ 15:00 5時限 15:10 ～ 16:25 6時限 16:35 ～ 17:50 7時限 18:20 ～ 19:35 8時限 19:45 ～ 21:00				集中講義	時
※<基>は基礎科目、<研>は研究科目を示す。 ※授業は2時限連続で行うが、便宜上2時限連続の1時限目に表記している。				01KA007 ビジネスと情報 [吉田・津田・倉橋]<基>648	4
※水色(斜体)は博士(博士後期)の科目 ※オレンジ色(立体)は修士(博士前期)の科目					時
				01KA241 経営システム科学研究・春 I [立本・中村・西尾・猿渡・尾崎・佐藤秀] 120(5/18のみ116)	5
				02FA141 システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ-Ⅰ [各教員] 講義室6	時
				02FA141 システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ-Ⅰ [各教員] 講義室6	限
					6
					時
					限
01KA001 経営基礎 [立本・佐藤秀]<基>120	01KA008 プログラミング基礎 [津田]<基>120	01KA005 ビジネス数理 [牧本]<基>120	01KA004 会計基礎 [中村]<基>120		7
02FA278 リスクマネジメント総論 [線] 講義室6	01KA109 マーケティングサイエンス [佐藤忠彦]649(2年生向け)		01KA106 現代マーケティング論 [西尾]116(2年生向け)		8
					時
					限
火	水	木	金	土	

春学期Bモジュール

授業時間：

3時限 11:45 ~ 13:00

4時限 13:45 ~ 15:00

5時限 15:10 ~ 16:25

6時限 16:35 ~ 17:50

7時限 18:20 ~ 19:35

8時限 19:45 ~ 21:00

集中講義

※〈基〉は基礎科目、〈研〉は研究科目を示す。

※授業は2時限連続で行うが、便宜上2時限連続の1時限目に表記している。

※水色(斜体)は博士(博士後期)の科目

※オレンジ色(立体)は修士(博士前期)の科目

12:20~授業開始
01KA172 社会シミュレーション
[倉橋]120(6/8のみ116)

02FA203 マーケティング・サイエンス特論
[佐藤忠彦](2・3限)講義室6

01KA172 社会シミュレーション
[倉橋]120(6/8のみ116)

01KA241 経営システム科学研究・春 I
[立本・中村・西尾・猿渡・尾碕・佐藤秀]
116・120(6/8のみ116、講義室8)

02FA141
システムズ・マネジメント特別演習 I - I
[各教員] 講義室6

01KA241 経営システム科学研究・春 I
[立本・中村・西尾・猿渡・尾碕・佐藤秀]
116・120(6/8のみ116、講義室8)

02FA141
システムズ・マネジメント特別演習 I - I
[各教員] 講義室6

01KA115 経営組織論
[佐藤秀典]120

01KA105 消費者行動
[西尾]120

01KA147 データ解析
[尾碕]120

01KA165 データマイニング
[吉田]120

02FA283 国際政治経済の概況と経営
[磯波] 433ゼミ室(6/18のみ652)

01KA151 計量経済学
[牧本]116(2年生向け)

02FA234 プロジェクト・マネジメント論
[木野]講義室6

火

水

木

金

土

3
時
限

4
時
限

5
時
限

6
時
限

7
・
8
時
限

春学期Cモジュール

授業時間：

- 3時限 11:45 ~ 13:00
- 4時限 13:45 ~ 15:00
- 5時限 15:10 ~ 16:25
- 6時限 16:35 ~ 17:50
- 7時限 18:20 ~ 19:35
- 8時限 19:45 ~ 21:00

集中講義
02FA238 情報検索特論 [津田] 土曜日2回
01KA125 インベストメントサイエンス [山田雄]649 (夏季休業中)
(修)01KA102 トップレクチャーⅡ [()]<選択必修> (夏季休業中)

※<基>は基礎科目、<研>は研究科目を示す。
 ※授業は2時限連続で行うが、便宜上2時限連続の1時限目に表記している。
 ※水色(斜体)は博士(博士後期)の科目
 ※オレンジ色(立体)は修士(博士前期)の科目

12:20～授業開始
 01KA103ビジネスゲーム (12:20開始)
 [倉橋・猿渡・中村]648

01KA103ビジネスゲーム
 [倉橋・猿渡・中村]648

01KA114 経営戦略論 [立本]120	01KA107 マーケティングリサーチ [佐藤忠彦]120	01KA168 テキストマイニング [津田・非常勤]648	01KA149 多変量解析 [尾崎]120		7
	02FA225 計画数理総論 [猿渡] 講義室6	02FA210 非営利組織経営論 [加藤] 講義室6	02FA282計量マーケティングモデル特論 [仲] 講義室6		8
					時 限
火	水	木	金	土	

秋学期Aモジュール

授業時間：

3時限 11:45 ~ 13:00

4時限 13:45 ~ 15:00

5時限 15:10 ~ 16:25

6時限 16:35 ~ 17:50

7時限 18:20 ~ 19:35

8時限 19:45 ~ 21:00

集中講義

※〈基〉は基礎科目、〈研〉は研究科目を示す。

※授業は2時限連続で行うが、便宜上2時限連続の1時限目に表記している。

※水色(斜体)は博士(博士後期)の科目

※オレンジ色(立体)は修士(博士前期)の科目

12:20~授業開始
02FA016 企業科学共通科目VI
[数理系教員]
講義室6

02FA016 企業科学共通科目VI
[数理系教員]
講義室6

01KA166 インターネットとビジネス情報分析
[吉田]120(10/5のみ116)

01KA194機械学習と最適化
[(非)伊豆永]648

01KA166 インターネットとビジネス情報分析
[吉田]120(10/5のみ116)

01KA194機械学習と最適化
[(非)伊豆永]648

01KA135財務会計
[中村]120

01KA142 最適化モデル
[猿渡]648, 120

02FA223 確率過程総論
[牧本]講義室6

01KA126 ファイナンス工学
[山田雄]649

02FA281組織研究
[佐藤秀]講義室6

01KA505マーケティング
[伴]120

火

水

木

金

土

3
時
限

4
時
限

5
時
限

6
時
限

7
・
8
時
限

秋学期Bモジュール				12:20～授業開始 01KA188 会計情報分析 [中村]120	3
授業時間：	集中講義			02FA212 プロフェッショナル・スポーツ論 [菊] (2・3限) 演習室B	時
3時限 11:45 ~ 13:00					限
4時限 13:45 ~ 15:00	※<基>は基礎科目、<研>は研究科目を示す。 ※授業は2時限連続で行うが、便宜上2時限連続の1時限目に表記している。			01KA188 会計情報分析 [中村]120	4
5時限 15:10 ~ 16:25	※水色(斜体)は博士(博士後期)の科目			02FA208 人材開発論(奇) [永井] (4・5限)435	時
6時限 16:35 ~ 17:50	※オレンジ色(立体)は修士(博士前期)の科目				限
7時限 18:20 ~ 19:35				02FA246 複雑システム論 [倉橋] (5・6限)講義室6	5
8時限 19:45 ~ 21:00				02FA208 人材開発論(奇) [永井] (4・5限)435	時
					限
				02FA246 複雑システム論 [倉橋] (5・6限)講義室6	6
					時
					限
01KA506 組織変革 [佐藤秀典]120	01KA164 人工知能とビジネス情報分析 [倉橋]120	01KA155 統計モデル [尾碕]120	01KA144 ロジスティクスとサプライチェーン [猿渡]120		7
02FA215 金融工学総論 [山田雄]649			02FA201 マーケティングコミュニケーション [西尾] 講義室6		8
					時
					限
火	水	木	金	土	

秋学期Cモジュール

授業時間：

3時限 11:45 ~ 13:00

4時限 13:45 ~ 15:00

5時限 15:10 ~ 16:25

6時限 16:35 ~ 17:50

7時限 18:20 ~ 19:35

8時限 19:45 ~ 21:00

集中講義
02FA242 ネットワーク特論 [吉田]12-1月土曜日
02FA011企業科学共通科目I-ビジネスと法I [企業法コース教員] 春季休業中 集中

※〈基〉は基礎科目、〈研〉は研究科目を示す。

※授業は2時限連続で行うが、便宜上2時限連続の1時限目に表記している。

※水色(斜体)は博士(博士後期)の科目

※オレンジ色(立体)は修士(博士前期)の科目

	3
	時
	限
	4
	時
	限
	5
	時
	限
02FA280 経営戦略特論 [立本](6・7限)講義室6	6
	時
	限
01KA139 技術経営論 [立本]120	7
01KA502 オペレーションズ・リサーチ [枚本]120	
01KA501 応用統計 [伴]120	8
02FA273 共分散構造分析特論 [尾崎]講義室6	
02FA230 ソフトコンピューティング [領家]講義室6	時
02FA279 財務会計特論 [中村]講義室6	
	限
火	水
	木
	金
	土

科目の読み替えについて(2学期制への移行対応)

科目読み替え表

システムズ・マネジメントコース

平成24年度まで					平成25年度以降				
共通科目(選択必修科目)					共通科目(選択必修科目)				
科目名	区分	単位	備考		科目名	区分	単位	備考	
システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ	選択 必修	2			システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ－Ⅰ	選択 必修	2		
システムズ・マネジメント特別演習Ⅱ		2			システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ－Ⅱ		1		
システムズ・マネジメント特別演習Ⅲ		2			システムズ・マネジメント特別演習Ⅱ－Ⅰ		1		
					システムズ・マネジメント特別演習Ⅱ－Ⅱ		1		
システムズ・マネジメント特別演習Ⅳ		2			システムズ・マネジメント特別演習Ⅱ－Ⅲ		1		
					システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ－Ⅲ		1		
システムズ・マネジメント特別演習Ⅴ		2			システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ－Ⅳ		1		
					システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ－Ⅴ		1		
システムズ・マネジメント特別演習Ⅵ		2			システムズ・マネジメント特別演習Ⅱ－Ⅳ		1		
					システムズ・マネジメント特別演習Ⅱ－Ⅴ		1		
システムズ・マネジメント講究Ⅰ		1			システムズ・マネジメント特別演習Ⅱ－Ⅵ		1		
					システムズ・マネジメント講究Ⅰ－Ⅰ		1		
システムズ・マネジメント講究Ⅱ		1			システムズ・マネジメント講究Ⅰ－Ⅱ		1		
システムズ・マネジメント講究Ⅲ	1			システムズ・マネジメント講究Ⅰ－Ⅲ	1				
システムズ・マネジメント講究Ⅳ	1			システムズ・マネジメント講究Ⅱ－Ⅰ	1				
システムズ・マネジメント講究Ⅴ	1			システムズ・マネジメント講究Ⅱ－Ⅱ	1				
システムズ・マネジメント講究Ⅵ	1			システムズ・マネジメント講究Ⅱ－Ⅲ	1				
システムズ・マネジメント講究Ⅶ～Ⅸ	各1			システムズ・マネジメント講究Ⅰ－Ⅳ～Ⅵ	各1				
				システムズ・マネジメント講究Ⅱ－Ⅳ～Ⅵ					
専門科目(選択科目)					専門科目(選択科目)				
科目名	区分	単位	備考		科目名	区分	単位	備考	
システムズ・マネジメント輪講Ⅰ～Ⅸ	選択	各1			システムズ・マネジメント輪講Ⅰ－Ⅰ～Ⅲ	選択	各1		
					システムズ・マネジメント輪講Ⅱ－Ⅰ～Ⅲ	選択	各1		

② 履修方法等

1. 企業科学専攻の専攻共通科目及びシステムズ・マネジメントコースの開講科目を中心に、以下の選択必修科目を含む20単位以上を履修すること。
2. 選択必修科目：
 - (a) 「システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ－Ⅰ～Ⅴ，Ⅱ－Ⅰ～Ⅵ」「システムズ・マネジメント講究Ⅰ－Ⅰ～Ⅵ，Ⅱ－Ⅰ～Ⅵ」は、博士論文執筆のための指導を内容とする科目であり、一つの学期に特別演習は3単位、講究は3単位（合計6単位）まで履修することができる。
 - (b) 「システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ－Ⅰ～Ⅴ，Ⅱ－Ⅰ～Ⅵ」の11科目の中から6単位以上を履修すること。なお、修了必要単位には最大6単位を算入することができる。履修申告に際しては、その学期に開講されている未履修のものの中から、最も番号の小さいものから申告すること。
 - (c) 「システムズ・マネジメント講究Ⅰ－Ⅰ～Ⅵ，Ⅱ－Ⅰ～Ⅵ」の12科目（各1単位）の中から3単位以上を履修すること。修了必要単位には最大6単位を算入することができる。履修申告に際しては、その学期に開講されている未履修のものの中から、最も番号の小さいものから申告すること。
注1：「システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ－Ⅰ～Ⅴ，Ⅱ－Ⅰ～Ⅵ」「システムズ・マネジメント講究Ⅰ－Ⅰ～Ⅵ，Ⅱ－Ⅰ～Ⅵ」とも、修了単位に算入できる上限よりも多い科目数が用意されている。これは、各科目の開講学期が決まっているため、休学等で特定学期にこれらの科目を履修しなかった場合に、他の学期に多くの履修ができるよう便宜を計っているものである。
3. 選択科目：
 - (a) 上記の選択必修科目以外に、原則として、システムズ・マネジメントコースの選択科目から7単位以上を履修すること。ただし、「システムズ・マネジメント輪講Ⅰ－Ⅰ～Ⅲ、Ⅱ－Ⅰ～Ⅲ」の単位は、最大3単位までを限度として、本コースの修了要件に算入することができる。
 - (b) 本学の大学院共通科目、他研究科・他専攻・他コースで修得した単位は、教員会議の議を経て、最大4単位までを限度として、システムズ・マネジメントコースの選択科目と同等に扱うものとする。
4. 非常勤講師が担当する科目については、当該年度に実施可能な時間数が決まった段階で、開講科目をアナウンスする。実施可能な時間数に制限があるため、毎年すべての科目を開講できるとは限らないので注意すること。
5. 博士論文作成プロセスについては、次の発表会および審査会をすべて合格する必要がある（詳細はコース規定参照のこと）。
 - (a) 研究計画審査：博士論文にふさわしい研究テーマの決定
 - (b) サーベイ論文審査：研究テーマに関連する文献の網羅と分析
 - (c) 中間論文審査：論文の骨格および主要な研究成果の審査
 - (d) 論文ドラフト審査：最終的な研究成果と論文構成の審査
 - (e) 予備審査：学位請求論文としての記述内容のチェック
 - (f) 論文審査および公聴会：提出された学位請求論文の審査
6. 本専攻システムズ・マネジメントコースに3年以上在学し、本コースの必修科目及び選択必修科目の単位をすべて含む合計20単位以上を修得した上、本コースの定める規則に従って学位論文を完成し、その審査及び最終試験に合格した者には、「博士（経営学）」または「博士（システムズ・マネジメント）」の学位が授与される。
7. 開設年度または単位数が異なる同一科目を修得した場合、修了要件として認められるのは、早い年度に修得した方の科目のみである。後に修得した科目は、「その他」の科目区分として登録され、修了要件としては認められない。
8. 上記の規定で定めること以外は国立大学法人筑波大学大学院学則等の上位規則の定めに従う。
注2：履修方法は、原則としてそれぞれの入学年度の便覧に記載されている履修方法に従うこと。
ただし、入学と同時に1年以上休学した者については、教員会議の承認を得て翌年度以降の入学者として扱うことができる。
注3：在学期間中にカリキュラムの変更が行われ、当該科目がなくなった場合には、必要に応じて科目の読み替えを行う。

履修方法・修了要件

ビジネス科学研究科 企業科学専攻 システムズ・マネジメントコース(博士後期課程)

【履修方法・修了要件】

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
専門科目	システムズ・マネジメントコース共通科目	選択必修 システムズ・マネジメント特別演習Ⅰ－Ⅰ～Ⅴ システムズ・マネジメント特別演習Ⅱ－Ⅰ～Ⅵ	6
		選択必修 システムズ・マネジメント講究Ⅰ－Ⅰ～Ⅵ システムズ・マネジメント講究Ⅱ－Ⅰ～Ⅵ	3～6
	システムズ・マネジメントコース専門科目	選択 ※ システムズ・マネジメント輪講Ⅰ－Ⅰ～Ⅲ、Ⅱ－Ⅰ～Ⅲは 最大3単位まで修了要件に算入可	7～
	企業科学専攻共通科目	選択	0～
		修了単位数	20

※ 履修上の注意

・大学院共通科目、他研究科・他専攻・他コースの科目については、教員会議の議を経て、最大4単位を上限に修了要件として認定することができる。

・一つの学期に特別演習は3単位、講究は3単位(合計6単位)まで履修することができる。各学期に開講されている未履修のものの中から、最も番号の小さいものから履修すること。

◆ 修了要件等

本コースに3年以上在学し、上記の履修方法に従って合計20単位以上を修得した上、本コースの規定に従って学位論文を完成し、その審査及び最終試験に合格した者には、「博士(経営学)」または「博士(システムズ・マネジメント)」の学位が授与される。

◆ その他

上記に記載する外、履修に際しての補足事項については別紙「履修方法等」を、早期修了を含む課程修了のプロセスについては別紙「課程修了と学位授与について」を参照。

③ 課程修了と学位授与について

[標準修了] 修業年限: 3年

(a) コースに標準修業年限(3年)以上在学し、(b)本コースが定める履修要件に沿って合計20単位以上を修得した上、(c)本コースの定める規則に従って博士論文を完成し、その学位審査及び最終試験に合格することにより、課程修了と学位授与が認められる形態である。なお、上記(a)~(c)に加え在学中の研究業績として、学術専門誌に採択された査読付き学術論文1編以上が必要となる。学生の大多数が選択する基本的な方法である。

[在来型早期修了] 修業年限: 1年以上3年未満

指導教員等からの推薦を受け、研究科に設置された検討委員会で「優れた研究業績を上げた者」(*1)と認定された者について、特別に修業年限を短縮し、課程修了と学位授与が認められる形態である。

該当者は、(a)コースに1年以上3年未満在学し、(b)本コースが定める履修要件に沿って合計20単位以上を修得した上、(c)本コースの定める規則に従って博士論文を完成し、その学位審査及び最終試験に合格することにより、課程修了と学位授与が認められる

(*1) 優れた研究業績を上げた者の満たすべき基準は、「当該候補者の在学中における研究成果が2編以上の学術論文として採択されており、かつ、他の1編に相当する論文又はそれに相当する著作物(特許等を含む)が一般の学術論文誌等の採択基準を満たしていると判断できること」である。

[早期修了プログラム] 修業年限: 1年

入学前に同プログラムの履修認定審査において、一定の研究業績を有し1年以内に博士の学位取得に到達可能なレベルとの認定を受けた者について適用する形態である。

在学中は所定の達成度評価を課し、修了に際しては「在来型早期修了」と同様に「優れた研究業績を上げた者」(*2)としての認定が必要となる。

該当者は、(a)コースに1年在学し、(b)本コースが定める履修要件に沿って合計20単位以上を修得した上、(c)本コースの定める規則に従って博士論文を完成し、その学位審査及び最終試験に合格することにより、課程修了と学位授与が認められる。

なお、当該プログラム履修者が1年で課程を修了できない場合は、標準修了あるいは在来型早期修了を目指すことになる。

(*2) 優れた研究業績を上げた者の満たすべき基準は、「当該候補者の在学中における研究成果が1編以上の学術論文又は国際会議論文(査読のあるものに限る)として採択されており、かつ、他の2編に相当する学術論文が一般の学術論文誌等に採択されていること」である。

注1 在来型あるいは早期修了プログラムにより早期修了を目指す者で、修士課程を早期修了した者については、修士課程及び博士課程の在学期間を合わせて3年以上の在学が必要である。

注2 本コースにおける課程編成、研究指導、6ステージ制の博士論文作成プロセス等は、すべて標準修了を前提として基本骨格が作られているが、在来型早期修了あるいは早期修了プログラムも適用可能なように組み立てられている。

注3 いずれの場合も、勤務の都合や論文の作成状況に応じて、標準修業年限(3年)に加え、在学期間の延長(通算2年)や休学(通算3年)を組み合わせることで、最大8年間まで在籍することが可能である。